

群馬県の子育て支援 中学卒業まで窓口負担ゼロ

15歳以下の歯の健康が大幅に改善

学校や医療現場で子どもたちの受診抑制をめぐり実態が取り沙汰されるなか、全国に先駆けて中学生以下の医療費の完全無料化(自己負担無し・所得制限無し)を実現した群馬県の取り組みに注目が集まっている。原発事故の関連で18歳以下を無料化した福島県を除き、都道府県レベルでは全国一の子育て支援策だ。制度発足から10月で5年目を迎える群馬県を訪ねた。

「自己負担があると通院を中断する可能性は高いと思います。何かと病気がケガがあるので大変助かっています」。前橋市内の小山歯科医院に通う14歳の子どもを持つ母親は顔をほころぼせる。医療機関の窓口と言えば「治療費を支払う場所」だが、群馬県内の子どもの場合はお金の受け渡しはない。「1回目の予約を取る場所」になっている。

群馬県保険医協会副会長は、「大人の場合は次の治療費を心配する人もいますが、子どもに関しては一切ありません。全国的なむし歯の減少傾向もあると思いますが、歯石除去やメンテナンスの子どもが多くなっています。気軽に受診できるかどうか」と受診動向の変化を語る。

休日や夜間に安易に受診する「コンビニ受診」への懸念については、拡充前の09年4～9月期の時間外受診1万1522件に対し、10年同期は9406件に減少した。

県は、無料化で「早期受診による重症化防止や、定期的な受診することによる病状の改善が期待できる」と分析。「結果的に医療費を抑制する効果も考えられる」と評価するなか、医療費の無料化が子どもの健康を守るだけでなく、医療保険財政にとっても有効な仕組みであることが示されている。

長年の運動の成果
群馬県で医療費の完全無料化が実現した背景に

「当時、群馬県の乳幼児死亡率は全国最悪でした。子どもの命を守ろうと若い母親たちが立ち

は、保険医協会や新日本婦人の会(新婦人)などの医療・市民団体、住民らの長年にわたる粘り強い運動がある。

新婦人群馬県本部の石田ちか子会長によると、県内で乳幼児医療費の無料化を求める署名運動が始まったのは1970年代。「当時、群馬県の乳

流れが大きく変わったのは、07年の知事選挙だ。無料化を求める住民要求の高まりを受け、5人の候補のうち3人が

群馬県の12年度の県債残高は1年間の税収の5・9倍に達しており、大阪府の5・2倍を上回っている。それでも、「予算をどこに重点配分するか」と木村補佐。知事

追及を受け、知事は09年10月に中学卒業までの完全無料化に踏み切った。

自身、議会の答弁のなかで子ども医療費の無料化について「活力ある豊かな社会を築くための未来への投資」将来にわたる安定的で持続可能な制度として運営していく」と表明している。

大阪府では、前知事の橋下徹氏が「乳幼児医療費助成の拡充」の公約を破り、「3歳未満・自己負担有り・所得制限有り」の全国最低で放置されたままになっている。

子どもの医療費無料化は、「未来への投資」であると同時に、児童福祉法で規定された「心身ともに健やかに育成する」ための子どもの権利とも言える。誰もがお金の心配をせずに安心して受診できるように、都道府県市町村レベルでのさらなる制度拡充を図ると共に、格差なく医療が受けられるよう国として制度化することが求められている。



子どもの治療の場合、群馬県内では窓口でのお金の支払いはない＝前橋市、小山歯科医院。正面奥が小山敦先生

医療無料化「未来への投資」

群馬県の時間外受診件数
(国保被保険者15歳以下)

助成(通院)拡大前
(2009年4～9月)
1万152件

↓

助成(通院)拡大後
(2010年4～9月)
9406件

92・7%に減少

「中学卒業までの医療費無料化」を公約に掲げ、その一人の保守系の大澤正明氏が当選した。

通院の無料化は、一時先送りされたが、新婦人による1200人分の「知事へのお願い要求カード」の提出行動や県議会での共産党議員らの度重なる

群馬県の12年度の県債残高は1年間の税収の5・9倍に達しており、大阪府の5・2倍を上回っている。それでも、「予算をどこに重点配分するか」と木村補佐。知事

追及を受け、知事は09年10月に中学卒業までの完全無料化に踏み切った。

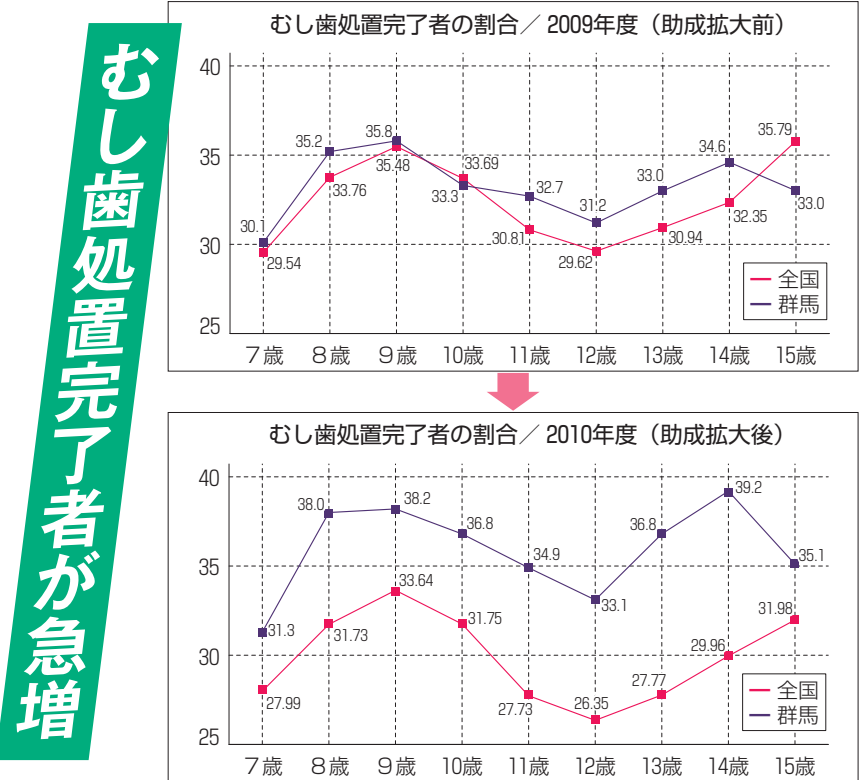
「結果的に医療費を抑制する効果も考えられる」と評価するなか、医療費の無料化が子どもの健康を守るだけでなく、医療保険財政にとっても有効な仕組みであることが示されている。

新婦人群馬県本部の石田ちか子会長によると、県内で乳幼児医療費の無料化を求める署名運動が始まったのは1970年代。「当時、群馬県の乳

流れが大きく変わったのは、07年の知事選挙だ。無料化を求める住民要求の高まりを受け、5人の候補のうち3人が

群馬県の12年度の県債残高は1年間の税収の5・9倍に達しており、大阪府の5・2倍を上回っている。それでも、「予算をどこに重点配分するか」と木村補佐。知事

追及を受け、知事は09年10月に中学卒業までの完全無料化に踏み切った。



群馬県子ども医療費無料化アンケート

問 子ども医療費助成制度は、どのような点で生活に役立っていますか？(複数回答可)

○約9割が「経済的負担の軽減」・「早期治療による子どもの健全な成長促進」と回答

子育て家庭の経済的負担が軽減される	95.7%
安心して早期に治療が受けられ、子どもの健全な成長が促進される	89.4%
子どもを産み育てやすい環境が整備され、少子化対策の効果が期待される	50.9%
その他	4.7%